

(様式1)

平成23年度 第4次総合計画進捗状況

1 政策－施策

都市像	01 心地よいつながりでつくる自治・協働・平和都市		
政策	02 幸せ感のあるまちの創出		
施策	01 人権が尊重され心ゆたかに生活できるまちをつくる		
	めざす内容	人権が尊重され、思いやりのある、心にゆとりを持った幸せな生活が実現できるまちづくりを推進し、生活の質を向上させ、地域を活性化させ、市民の生活の質を向上させていきます。	
施策の取り組みの柱と方針			
1 人権に関する意識の啓発 ○人権啓発講座や講演会などを通して、人権尊重の意識啓発をすすめます。 ○学校教育等において、他人への思いやりやいじめなどの問題を考える機会の実施を促進し、人権意識の向上を図ります。			
2 人権被害者に対する支援 ○人権侵害に関する相談窓口を充実させるとともに、それらの案内・周知を図ります。 ○沖縄県および那覇人権啓発活動地域ネットワーク協議会などの関係機関と連携し、人権侵害などの支援に取り組んでいきます。 ○相談者のプライバシー保護についての説明の充実や相談場所の環境整備につとめ、相談に機会の実現につなげます。			
施策担当課	所 属 (部・課)		
	主管課	学校教育課	関連課

2 成果指標の実績とめざそう値

指標名及び指標番号	単位	現状値	2010	2012	2017
			H22年	H24年	H29年
57 年間指導計画における人権教育実施校の割合	%	64.8 (2006)	97(小) 85(中)	90	100
		取得方法または出典など	人権教育の実施状況調査(県)		
H22年度実績に対するコメントまたは指標値の把握が困難な場合はその理由		・全小中学校において、人権教育の年間計画等が設定されている。また、各小中学校で人権教育に校内研修が実施され、人権教育が充実したも態の工夫や校内研修内容の充実が求められる。			

3 今後の展開方針

- 1 児童生徒・教職員がともに人権意識を高めるために毎月の「人権を考える」
○校内研修の内容が資料の読み合わせが多いので、今後は講話や事例研究する。
- 人権教育の活動形態として、学級・学年単位での指導と全校集会活動による。
- 2 教育活動全体を通して人権意識を高める取組を図る。
- 3 「いじめ」「虐待」「DV」に関して、学校・家庭・地域との連携を図る。

状況表

きるように、啓発機会や情報提供、相談体
ます。
犯事例の把握、人権相談窓口の利用促進 に際しての不安の解消と利用しやすい相談

指標の意図・説明
小・中学校で人権を考える教育を充実させることにより、人権を尊重する社会人をめざします。すべての小・中学校において、人権関連の学習機会を実施することをめざします。
成と人権委員会及び「人権の日」教育担当者をおき、担当者を中心のになっている。今後は、活動形

目」の取組を充実させる。
究等の実施など内容の充実を図
る一斉指導などを適宜活用する。